



2025年2月14日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオンへの加入を決断

～東日本ユニオンから18名が加入～

本日2月14日、東北地方で働く仲間18名が東日本ユニオン（JR東日本労働組合／産別加盟なし）を脱退し、ジェイアール・イーストユニオンへ加入した！

この18名の仲間は、労働組合組織率が2割程度というJR東日本において労働組合の必要性や重要性を重んじ、これまで東日本ユニオン運動に参画していたところ、ジェイアール・イーストユニオンの活動に触れる機会を得て、JR連合運動に対し大きな魅力を感じ、産別組織がない東日本ユニオンとの比較を改めて行った上で今回の決断に至った。

JR連合に集う全国8万5千人の仲間は、 勇気ある決断を心より歓迎します！

社員5万人超のJR東日本は、JRで最大、かつ国内有数の大企業であるが、前述の通り、社内の労組組織率は2割に留まる。国の調査によれば、1千人以上の企業に勤める雇用労働者の労組加入率は約4割とのことだが、その水準にも及ばない。これは過去、JR東労組（JR総連）の組合員が大多数を占めたことで、「民主的労働運動」が社内に根付かなかつた弊害とも言える。

私たちは、JR東日本において労働組合の必要性を感じている未加入者の方々や、JR東労組やJR東日本輸送サービス労働組合のような“階級対立型”ではない民主的労働運動を志向する他労組組合員の方々が、私たちの活動へ参画すること、ひいては加入することを心よりお待ちしております。

<民主化当該3単組の拡大実績（2024年6月以降）>

JR北労組 4名

ジェイアール・イーストユニオン 18名

貨物鉄産労 3名